

情報公開型社会・環境重視型社会・新技術競争型社会に 適応する新しい建設工事システム実現化の検討

共同研究グループ代表 西松建設（株）関西支店営業部

伊藤 典生

幹事 銭高組（株）大阪支店営業第三部

山本 芳博

1. はじめに

我が国の経済状況は、バブル経済の崩壊後の不況状態から、未だ完全には立ち直れずにいる。これに伴って、行政改革による産業界の建て直し・景気刺激策の検討が始まっている。建設界でも、公共事業費の削減という大きな課題を受けて、建設省を中心とする公的発注機関による新しい発注方法や、建設事業の新しい統括事業管理システム確立の努力が払われている。建設業界においても、生産性の向上・コスト縮減・品質の確保等々を目指したソフト・ハードな技術・方法の開発が、多くの努力を払って推し進められつつある。

本共同研究グループでは、以上のような検討を効率的に推進して望ましい成果を得るためには、建設業の担当者間の情報交流を通じた確かな事実・問題・課題認識を行うと共に、最も効率的で現実的な対応策を共同研究して発見し、効果的に具体化していくことが必要と考え、研究活動をスタートさせたものである。

そして、このような目的の実現のため、次のような具体的な検討内容を設定して、研究活動を進めている。

- ①情報公開の実現化・建設工事環境の保全技術開発の進展・建設施工技術の高度化、等々に繋がる新しい工事施工システム開発の可能性に関するアイディアフラッシュ・ブレインストーミング
- ②現行の工事施工システムにおける上記建設プロジェクト情報公開・工事環境保全・建設施工高度化技術の三側面における各種の課題の達成策・問題の解決策の抽出と、そのためのモデル建設工事施工システム・体制の機能論的レイアウト
- ③上記のような課題達成・問題解決に繋が

る各種自動化・機械化・情報化技術システムの導入に関する方法論的検討と、それらの実現を可能とする施工組織・体制の検討

- ④上記①、②、③の実行・実現に繋がる人材育成体制・方法に関する検討

なお、上記①～④の検討は、まず、参加メンバーが協力して収集した資料・文献情報に関する総合的な分析・検討を通して進めている。また、各テーマに関係する分野の情報・話題提供者を招聘して、話題提供内容に対する討議も積極的に進めている。

2. 共同研究グループの構成

本共同研究グループの参加者は、以下に示すように、代表・幹事を含めて 33 名（大学 5 名、官庁 6 名、民間 22 名）で構成されている。

代表

伊藤典生（西松建設（株））

幹事

山本芳博（（株）銭高組）

委員

春名 攻（立命館大学理工学部）
建山和由（京都大学大学院）
伊藤壮央（立命館大学大学院）
川上俊幸（立命館大学大学院）
大村健太（立命館大学大学院）
宮本毅（建設省）
井上俊廣（兵庫県）
藤田善啓（神戸市）
村上毅（大阪府）
野々口静夫（京都府）
曾根英樹（阪神高速道路公団）
嶋谷正（京阪電鉄（株））

山部茂（南海電鉄（株））
田向兼市（計測テクノ（株））
伊藤英和（（株）浅沼組）
渡辺隆司（（株）浅沼組）
浜嶋紘一郎（（株）大林組）
北角哲（（株）奥村組）
三谷隆一（鹿島建設（株））
高尾秀之（（株）熊谷組）
大河原富士夫（（株）鴻池組）
塩谷照夫（大成建設（株））
高木幸二（東亜建設工業（株））
河瀬伸幸（東洋建設（株））
南條克正（飛鳥建設（株））
乗京正弘（飛鳥建設（株））
河内正克（（株）フジタ）
住谷知博（（株）松村組）
大岩忠男（（株）松村組）
森田純司（（株）森組）
松岡清一（（株）銭高組）

3. 研究活動の経過

本研究グループでは、次のような研究会を開催した。

第1回研究会

平成10年4月15日15:00～17:00
（株）奥村組9F会議室 参加者20名
○共同研究グループメンバーの自己紹介と研究活動の進め方に関する要望
○研究活動の基本方針に関する討議

第2回研究会

平成10年5月13日12:00～14:00
三井アーバンホテル会議室 参加者20名
○研究活動の活動計画に関する討議

第3回研究会

平成10年6月24日14:00～17:00 西松建設（株）2F会議室 参加者25名
○講演会；『「温暖化」対応について』 講師 野邑奉弘氏（大阪市立大学教授）
○PFIに関する報告及び討議（（株）熊谷組 高尾秀之氏）

第4回研究会

平成10年7月14日14:00～17:00
立命館大学BKC第74会議室 参加者18名
○地域マネジメントセンターに関する研究の報告及び討議（立命館大学 春名攻氏）

○マルチプロジェクトプランニング・スケジューリングモデルに関する研究の報告及び討議（立命館大学大学院 川上俊幸氏）

第5回研究会

平成10年9月7日14:00～17:00
住友生命「釣鐘クラブ」 参加者14名
○公共事業における新技術活用促進システムについての報告及び討議（建設省 福知孝夫氏）

第6回研究会

平成10年10月21日14:00～17:00
（株）銭高組大阪支社A会議室 参加者16名
○講演会；『弥生時代の大集落遺跡の発見と考古学者から土木技術者・土木学者に期待するもの』 講師 佐古和枝氏（関西外国語大学助教授）

○地方都市における廃川跡地利用に関する報告及び討議（立命館大学 春名攻氏）

○地方都市における IC・SA 等の開発計画に関する報告及び討議（立命館大学 春名攻氏）

第7回研究会

平成10年11月18日14:00～17:00
住友生命「釣鐘クラブ」 参加者17名
○ネットワーク時代における建設プロジェクトの情報化と協調化に関する報告及び討議（（株）大林組 浜嶋紘一郎氏）

第8回研究会

平成11年2月5日14:00～17:00
OMMビル第1会議室 参加者14名
○講演会；『建設マネジメント研究の課題と展望』 講師 木下賢司氏（建設土木研究所建設マネジメント技術研究センター）
○今後の研究活動方針及び研究活動計画に関する意見交換

4. おわりに

本共同研究グループでは、今後、参加メンバーが所属する各社の実施している本研究テーマと関連した具体的な対応を例にとって議論を進めていくとともに、その中で、新しい概念・方法・技術の導入の可能性と効果に関する検討および、そのとりまとめを行っていきたいと考えている。